

さいたま市立東岩槻小学校

学校だより 7月号

すわっ子だより

学校教育目標 ともに伸びる子 ・かしこく ・ゆたかに ・たくましく
令和元年6月28日(金) 第4号 発行責任者 小野 圭司
在籍児童数245名 HP <http://higashiiwatsuki-e.saitama-city.ed.jp/>



10020

校長 小野 圭司

雨の中のアジサイはやはり美しい。そのような様子がぴったりの6月でした。校門横のアジサイの雨に濡れた美しい様子が私たちの目を楽しませてくれました。

本校では、6月を「歯・口の健康月間」としています。ポスターや標語の募集・掲示、むし歯・歯肉炎などで受診が必要な子の受診状況の掲示、歯ブラシ点検など、子どもたちの歯・口に対する意識高揚を図るために様々な取組を行いました。

養護教諭に本校の歯の状況を聞いたところ、治療勧告書を渡す子どもたちの割合が昨年度よりも減少しているという嬉しい報告がありました。昨年度は約35%であった割合が今年度は約28%となっているとのこと。本校は歯の健康面が心配されていたため、少しよくなってきている兆しが見られ、ほっとしているところです。

しかし、安心してはいられません。食後の歯みがきをしないなど気を抜くと、すぐにむし歯になってしまうことが考えられます。6月14日(金)に行われた「よい歯の集会」において「よい歯パーフェクト賞」をもらった子は48名でした。今年度の特徴は、むし歯はないが歯垢の付着や歯肉の炎症がみられる児童が多くいたことです。毎回ていねいな歯みがきができていれば歯垢の付着や歯肉の炎症もなく、「よい歯パーフェクト賞」がもっと増えていたのではないかと思います。一生使う大事な自分の歯だからこそ、毎日の歯みがきや定期健診などがとても重要になります。

標題の「10020」という意味が分かるでしょうか。「8020運動」という言葉を聞いたことがある方も多いかと思います。80歳まで20本の健康な歯を残そうという運動です。しかし、今は人生100年時代に突入したと言われていています。だからこそ、「10020」です。100歳まで20本の健康な歯を残す必要があるのです。20歳も寿命が延びる時代を生きていく子どもたちには、健康な歯はとても大切な財産となります。

その大切な財産を、子どものうちから大切にさせ、長く使えるようにしていく必要があります。日本では食後の歯みがきが習慣化されていますが、外国では日本ほど歯みがきの習慣がないそうです。しかし、外国の方が丈夫な歯をもっている人が多いようです。ある本によると、定期健診を大切にしているとのこと。定期的に歯医者さんに診てもらい、早めに治療したり、歯に対するアドバイスをしたりしてもらっているそうです。

さいたま市では、中学校卒業前までの子どもたちは市内医療機関の窓口で医療費を支払わずに受診できます。これを使わない手はありません。初診は保護者の方と一緒に行っていただき先生とよく話をすることがあるかも知れませんが、病院の行き帰りが大丈夫ならば、後はお子さんに任せながら進めていくのがよいのかも知れません。

残り約90年間使用する歯のメンテナンスを怠ってはなりません。長く使うためには初めの段階でのケアが大変重要です。子どもたちのために、どうぞ定期的な受診をお願いいたします。

7月のおもな行事予定

7・8月の旗振り当番は1・2・3年生です。

日	曜	行事等
1	月	読書タイム クラブ(1学期最終) 5年振替休業日
2	火	GSタイム
3	水	美化タイム PTA旗振り講習 PTA役員会 参観懇談会1・2・3年 放課後つぼみ教室
4	木	国語タイム 放課後すわっ子塾 鈴木人形店見学(3年)
5	金	表彰朝会 参観懇談会4・5・6年、ひまわり学級 6年携帯電話・インターネット安全教室
6	土	
7	日	
8	月	読書タイム 委員会活動(1学期最終)
9	火	GSタイム
10	水	運動タイム
11	木	算数タイム 放課後すわっ子塾
12	金	児童集会 お話かご
13	土	学級の時間 土曜授業日 通常3時間授業
14	日	
15	月	海の日
16	火	GSタイム
17	水	こころの時間 給食終了
18	木	学級の時間 一斉下校 通常3時間授業 大掃除 給食なし
19	金	学級の時間 1学期終業式 通常3時間授業 給食なし
20	土	土曜すわっ子塾
21	日	夏休み 7月20日(土) ~8月26日(月)まで
22	月	水泳指導
23	火	水泳指導 ノーメディアデー
24	水	
25	木	水泳指導
26	金	水泳指導
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

7月の生活目標

「身の回りの整理整頓をしよう」

- ・ 昼の掃除を静かにします。
- ・ 教室の机やロッカーの中をきれいに整えます。
- ・ 筆箱の中身は、必要のある文具だけにします。
- ・ 使った用具は、元の場所にきちんともどします。